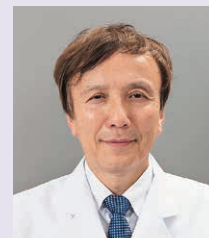


感覚器・理学診療科

皮膚科

病棟 東病棟 15F

外来 外来診療棟A 4F 連絡先 022-717-7759 (外来)

ホームページ <http://www.derma.med.tohoku.ac.jp/>科長
相場 節也 教授

主な対象疾患

●湿疹・皮膚炎：アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎など ●蕁麻疹・痒疹・皮膚癢痒症・紅斑症（多型滲出性紅斑、結節性紅斑など）・紫斑病 ●血管炎・褥瘡・熱傷・日光皮膚炎・薬疹・自己免疫性水疱症（尋常性天疱瘡、水疱性類天疱瘡）・遺伝性角化症（魚鱗癬、グリエー病など） ●炎症性角化症：乾癬（尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬）・扁平苔癬 ●膠原病（エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎など） ●しみやあざ（日光黒子（老人性色素斑）、肝斑、太田母斑、色素性母斑（ほくろ）、扁平母斑、尋常性白斑、表皮母斑、脂腺母斑、毛細血管奇形（単純性血管腫）、乳児血管腫（いちご状血管腫）など） ●皮膚良性腫瘍（脂漏性角化症、粉瘤（アテローマ）、石灰化上皮腫など） ●皮膚悪性腫瘍：表皮内癌（ボーエン病、日光角化症、パジェット病など）、基底細胞癌、有棘細胞癌、悪性黒色腫（メラノーマ）、隆起性皮膚線維肉腫、血管肉腫など ●皮膚付属器疾患：円形脱毛症、ざ瘡（にきび）、酒皰、陥入爪、まきづめ、 ●皮膚感染性疾患：単純疱疹（ヘルペス）、帯状疱疹、ゆうぜい（いぼ）など、細菌性疾患（おでき、丹毒、慢性膿皮症など）梅毒、皮膚結核、皮膚抗酸菌症

診療内容

新患（午前）では、日本皮膚科学会認定専門医が研修医とともに診断・治療にあたり、肉眼的な臨床所見はもちろん、ダーモスコピーや皮膚超音波測定装置を用いた非侵襲的検査、必要に応じた病理組織検査など多角的な所見を踏まえて正確な診断を心がけています。診断が困難な症例や治療法の選択に苦慮する症例に対してはクリニカルカンファランスを行い、複数の皮膚科専門医が診察し、教授主導のもとにさらに詳細な検討が行われます。このクリニカルカンファランスにより、複数の皮膚科専門医の意見を反映した、よりよい皮膚科診療を目指しています。

午後に行っている専門外来では、個々の疾患に特化した専門の治療を行っています。専門外来としては、腫瘍外来、アトピー性皮膚炎外来、乾癬外来、脱毛外来、白斑外来、レーザー外来、水疱症外来があります。

治療方法に関しては、皮膚科医が従来行ってきた軟膏療法や光線療法に加えて、皮膚外科手術、レーザー治療、ナローバンドUVBやエキシマライトなど紫外線療法、光線力学療法、ケミカルピーリング、生物学的製剤や分子標的薬を用いた最新の治療を積極的にレパートリーに加えています。

病棟は日本国内の皮膚科としてはトップクラスの病床数である24床を確保し、悪性黒色腫を含む皮膚腫瘍の手術、自己免疫性水疱症、重症アトピー性皮膚炎、重症乾癬、重症薬疹、円形脱毛症、白斑、膠原病、重症皮膚感染症などの難治性皮膚疾患の治療、毛細血管奇形や太田母斑などのあざのレーザー治療を行っています。

診療体制

新患日（月、火、水、金曜日午前）、特殊再来（月：腫瘍外来、脱毛外来、水：乾癬外来、木：アトピー性皮膚炎外来、水疱症外来、白斑外来、金：レーザー外来）病棟（29床）、手術日（水：局所麻酔対応、木：全身麻酔対応）

得意分野

- 皮膚悪性腫瘍治療：通常の視診、触診に加え、ダーモスコープ、皮膚超音波測定装置、CT、MRI、PET検査、病理組織検査などを必要に応じて活用し正確な診断を心がけるとともに、外科的切除、放射線療法、抗体医薬、分子標的薬を組み合わせた多面的治療を行っています。また、根治切除不能の悪性黒色腫に対する免疫療法、分子標的療法を積極的に導入、他に医師主導治験で皮膚癌、皮膚リンパ腫に対する新規治療法の開発を行っています。さらに、標準治療がなくなった患者様を対象にゲノムパネルを用い、個々の患者様に応じてオーダーメイド治療を開始しております。
- 白斑の手術療法：尋常性白斑に対して、通常の軟膏治療、光線治療に加えて、1mmパンチグラフト、スマッシュグラフトなど手術的治療を積極的に行っています。
- 皮膚機能検査：当科では、角層水分含有量や皮膚バリア機能を測定する機器を用いた非侵襲的な皮膚機能検査は専用の恒温恒湿測定室にて行っています。バリア機能低下がアトピー性皮膚炎等の皮膚疾患の病因にあげられています。これらの皮膚機能検査機器を用いることで、皮膚症状や治療効果をより客観的に判定できます。
- レーザー外来では以下の装置を使用しています。
 - 皮膚良性血管病変治療用レーザー装置（V beam）
 - 皮膚良性色素疾患治療用レーザー装置（ALEX II, ALEXLAZR）
 - ウルトラパルス炭酸ガスレーザーシステム（ウルトラパルスアンコア）
- 乾癬、類乾癬、菌状息肉症、白斑などには以下の光線治療装置を使用しています。
 - キャビン型紫外線治療器 UV7002
 - 紫外線治療器 デルマレイ-400
 - ターゲット型エキシマライト（エキシマライトマイクロ）
 - エキシマライト光線療法機（セラビームUV308）
 - ターゲット型UVB治療器（TARNAB）
- 脱毛症：急性期の重症な円形脱毛症に対してステロイドセミパルス療法を積極的に行い、そのほか慢性期の患者を中心にステロイド局注、SADBEやDPCPを用いた局所免疫療法などを行っています。
- 分子標的治療：乾癬、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、慢性膿皮症（化膿性汗腺炎）などの分子標的治療や治験を積極的に行っています。

ご紹介いただく際の留意事項

■当院は高度・先進医療を提供する「特定機能病院」です。当院の受診を希望される場合は原則、他の医療機関からの紹介状が必要となります。また当科を初診される全ての紹介患者さんは、当日の混雑をさけるため地域医療連携センターを介してあらかじめ予約をとった後に受診して頂いております。しかしながら、急を要する患者さんはこの限りではありません。主治医の先生方から直接連絡を頂ければ、新患担当医が適切に対処いたします。新患患者さんに十分な診察と説明の時間を確保するための配慮としての完全予約制にご理解いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。